

日本測地学会第98回講演会

10月28日(月)

12:00~13:00 IUGG2003 募金検討会 (3階第4会議室)

17:00~18:00 宇宙技術測地利用小委員会 (3階第4会議室)

18:15~20:30 [市民のための学術講演会](#)

「金沢が生んだ日本初の世界的天文測地学者 木村 栄(ひさし) z 項発
見から100年」 (2階大集会室)

10月29日(火)

9:15~12:00 I. 「測地・計測技術」

座長：飛田幹男(国土地理院)、市川隆一(通総研)

1. VERA による 22GHz 帯を用いた測地試験観測 (10 分)
国立天文台 国立天文台 VERA グループ
(発表者 寺家孝明)
2. スーパーSINET を用いたギガビット・測地 VLBI の開発(12 分)
岐阜大工 高羽 浩、若松謙一、吉田 稔
国立天文台 川口則幸
通総研 近藤哲朗
国土地理院 高島和宏
3. 国際 VLBI 観測データのグローバル解析 (12 分)
国土地理院 栗原 忍、宮川康平、高島和宏
4. 測地基準系のグローバルな変動について (12 分)
国土地理院 松坂 茂
5. 日本における Semi Dynamic Datum の可能性 (12 分)
国土地理院 辻 宏道、畑中雄樹、田中愛幸
6. 干渉 SAR 解析の自動化に向けて I (12 分)

国土地理院 飛田幹男、松坂 茂

10:30~10:40 休憩

7. IP-VLBI システムを用いた相対 VLBI 試験観測による GEOTAIL 軌道推定の試み (12 分)

通総研 市川隆一、近藤哲朗、小山泰弘

中島潤一、関戸 衛、川合栄治

木村守孝、大崎裕生、大久保寛

「のぞみ」相対 VLBI グループ

(宇宙研、国立天文台、NASDA、山口大、岐阜大、富士通、通総研)

8. レーザー測距データによる大気荷重変形の検出 (12 分)

通総研 大坪俊通、市川隆一

9. ヘリコプター重力測定による海底断層調査 (12 分)

東海大学 瀬川爾朗、V. Kumar、楠本成寿

産総研 E.J. Joseph、石原丈実

朝日航洋(株) 中山英二、関崎征一、伊藤武男

静岡大 里村幹夫

10. 非静力学モデルによる大気モデル、および測位誤差シミュレーション結果 (12 分)

通総研 市川隆一

気象研 瀬古 弘

ハワイ大 M. Bevis

11. 高山における地殻変動連続観測 (12 分)

名大院環境 藤井 巖、山内常生

12. 水管傾斜計の新しい機構部の開発 (12 分)

国立天文台 坪川恒也

12:00~13:00 昼食

12:20~14:00 日本測地学会評議会 (3階第4会議室)

13:00~14:40 II. 「地殻変動」

座長：藤森邦夫（京大院理）、中尾 茂（東大地震研）

13. 深部ボーリングにおけるオーバーコア応力測定とボアホール形状の影響（12分）
東濃地震研 石井 紘、浅井康広
名大院環境 山内常生
東大地震研 松本滋夫
14. 気圧計記録を用いた伸縮計記録の温度補正について（12分）
京大防災研 森井 互
15. 浅い観測坑におけるレーザー伸縮計を用いた地殻ひずみの観測（12分）
京大院理 竹本修三、百瀬秀夫、藤森邦夫、東 敏博
16. 淡路島北部における最近の歪変化（12分）
京大院理 藤森邦夫、瀧口博士
奈良産業大 向井厚志
17. 日向灘地殻活動総合観測線における伸縮計記録の観測点間の相関について（12分）
京大防災研 原田昌武、古澤 保
寺石眞弘、大谷文夫
18. 2002年5月に発生した伊豆半島東方沖群発地震活動に伴う歪・傾斜変化（12分）
東大地震研 中尾 茂
19. 地震・火山活動に先行した潮汐定数の変化（12分）
富山大院理 廣瀬一聖
京大防災研 川崎一朗、和田安男
京大院理 竹本修三
防災科技研 岡田義光
気象庁 小久保一哉
20. 逢坂山観測所で観測される地下水位の潮汐変化（12分）
京大防災研 重富國宏、原田昌武

14:40～14:50 休 憩

14:50～17:10 II. 「地殻変動」

座長：今給黎哲郎（国土地理院）、橋本 学（京大防災研）

21. 御前崎地方の上下変動について GPS と水準測量を比較して（12分）
国土地理院 西修二郎、松村正一、呉新華
鹿児島大理 田中 穰
22. 御前崎地域水準測量にみられる年周変化と大気屈折の関係（12分）
中央工学校 田島 稔
国土地理院 今給黎哲郎
23. 御前崎地域水準測量にみられる年周変化の区間別特性について(序報)（12分）
国土地理院 今給黎哲郎
中央工学校 田島 稔
24. スロー・スリップ・イベントのマッピング（12分）
京大防災研 川崎一朗
25. 2000年鳥取県西部地震の余効変動の再検討（12分）
京大防災研 橋本 学、伊藤武男
26. 断層模型による地表上下変動のパラドックス (2)開口断層（12分）
防災科技研 岡田義光
27. 始良カルデラ周辺の地殻変動（12分）
鹿児島大理工 井口貴博、上野邦治、呉 新華、古田亮三
鹿児島大理 平林靖章、田中 穰、江頭康夫
28. 差分干渉 SAR による地震時地殻変動の検出 ～1996 鬼首地震～（12分）
東大地震研 青木俊平、古屋正人、大久保修平
九州東海大工 小林茂樹

29. 硫黄島の地殻変動の時間変化 - JERS-1 の干渉 SAR 解析より (12 分)
国土地理院 矢来博司、村上 亮、飛田幹男、中川弘之
日本学術振興会/国土地理院 小澤 拓
国土交通省 藤原 智
30. 伊豆大島島内における D-InSAR を用いた地殻変動の検出 (12 分)
京大院理 奥山 哲、竹本修三
国土地理院 村上 亮、飛田幹男、中川弘之、矢来博司
国土交通省 藤原 智
31. JERS-1 の干渉 SAR 法により得られたタンボラ火山・インドネシアの地殻変動 (12 分)
日本学術振興会/国土地理院 小澤 拓
産総研 高田 亮
国土地理院 村上 亮

17:15 ~ 18:15 地殻変動・海水準小委員会 (3 階第 4 会議室)

18:30 ~ 20:30 懇親会 (金沢エクセルホテル東急 加賀の間)

10月30日(水)

9:15 ~ 12:10 III. 「GPS・地殻変動(2)・海洋測地」

座長：日置幸介(国立天文台)、畑中雄樹(国土地理院)

32. 受信機の時計の誤差は二重差により補償されるか(12 分)
エア・スペース・ジャパン 川俣健一
33. 新 GEONET の構築 - リアルタイム化・高精度化に向けて - (12 分)
国土地理院 山際敦史、畑中雄樹、丸山一司、菅富美男
石本正芳
34. 電子基準点データ実時間配信による仮想基準点方式実験 (12 分)
国土地理院 西修二郎、畑中雄樹、松村正一、都築三千夫
呉新華
(社)日本測量協会 土屋 淳、吉村愛一郎、菅原優一、小西賢二

生田目隆明

35. 日本周辺の大気遅延勾配推定値の長期的評価(12分)
国土地理院 畑中雄樹
36. GEONET 新解析結果による座標値の季節変動成分 (その2) (12分)
国土地理院 畑中雄樹
37. GPS 長基線解に含まれる季節成分について - 南太平洋 GPS 観測網を例として -
(12分)
国土地理院 宗包浩志、松坂 茂
38. 年周地殻変動ふたたび (12分)
国立天文台 日置幸介
39. L3 位相を用いた長距離キネマティック GPS 解析の問題点 (10分)
海洋情報部 矢吹哲一郎

10:55 ~ 11:05 休憩

40. GPS 連続観測による日本列島の上下変動の考察 (12分)
国土地理院 村上 亮
41. 南西諸島の GPS 速度場とサイスモテクトニクス (12分)
高知大理 渡部 豪、田部井隆雄
国土地理院 畑中雄樹
42. 東北日本における GPS 3次元データの測地インバージョン (12分)
東北大院理 諏訪謡子、三浦 哲、長谷川昭、佐藤俊也
立花憲司
43. 通総研鹿島34mアンテナによるキネマティック GPS 精度検証実験 (12分)
東北大院理 三浦 哲、A. Sweeney、藤本博巳
通総研 大崎裕生、川合栄治、市川隆一、近藤哲朗

44. 海底地殻変動観測 - 海中音速構造が海底基準局の位置決定に与える影響について
- (12分)

海洋情報部 佐藤まりこ、衛藤哲大、藤田雅之、矢吹哲一郎
東大生産研 望月将志、吉田善吾、浅田 昭

12:10~13:20 昼 食

12:10~13:10 重力・ジオイド小委員会 (3階第4会議室)

13:20~16:40 IV「理論測地・重力・惑星測地・南極測地」

座長：黒石裕樹(国土地理院)、古屋正人(東大地震研)

45. ハロー・ウェーブレットを用いたマルチボイス・フレームによる二次元データの解析と復元手法の開発 (12分)
国土地理院 黒石裕樹
シュトゥットガルト大学 W. Keller
46. ハロー・ウェーブレットを用いた日本周辺の海域重力場モデルの系統誤差の除去 (12分)
国土地理院 黒石裕樹
シュトゥットガルト大学 W. Keller
47. Foundational Defect of Nonlinear Continuous Filtering (12分)
京大防災研 徐培亮
48. ρ_B -freeなブーゲー異常と物理測地学の基本方程式 (12分)
応用地質(株) 野崎京三
49. 正規楕円体上のブーゲー異常・ジオイド高・ブーゲー密度の同時推定の試み:富士山周辺地域の重力・地形データへの適用例 (12分)
応用地質(株) 野崎京三、岩本鋼司、大下賢一
50. 絶対重力計 FG5 の相互比較(2) (12分)
国土地理院 西久美子、平岡喜文、木村 勲

東大地震研 大久保修平、古屋正人、松本滋夫
京大院理 福田洋一、東 敏博
産総研 杉原光彦

51. 超伝導重力計の傾斜補正について (12分)
京大院理 岩野祥子、福田洋一、東 敏博
国立天文台 佐藤忠弘、田村良明
国立極地研 土井浩一郎、澁谷和雄

14:50 ~ 15:00 休 憩

52. 富士山の重力構造 (12分)
産総研 駒澤正夫
53. 伊豆大島火山の最近の重力変動 (10分)
東大地震研 古屋正人、大久保修平、下山智徳、渡部秀文
坂下至功
54. インドネシア・フローレス島中部の重力構造 (12分)
産総研 駒澤正夫
三菱資源開発(株) 松久保和人
インドネシア火山災害防止局 Z. Nasution
インドネシア鉱物資源局 H. Sundhoro
55. 海溝の会合部の陸側の負の重力異常の成因 (12分)
日本学士院 友田好文
56. 測地衛星の軌道解析による最新重力場モデルの評価 (12分)
通総研 大坪俊通、久保岡俊宏
57. 月の重力ポテンシャル係数より推定するマンツルの形状 (12分)
三菱スペース・ソフトウェア(株) 矢田部学
58. 南極氷床上での精密重力測定の意味と方法について (12分)
京大院理 福田洋一
国立極地研 澁谷和雄、土井浩一郎、青木 茂

59. 南極・Vostok 基地において観測された重力の潮汐変化データの再解析 (12 分)

国立極地研 土井浩一郎、澁谷和雄

トレステン工科大 R. Dietrich、A. Poetzsch

「ポスターセッション」

10月29日(火) 10:10~10月29日(火) 17:15

(30日(水) 16:30 まで展示可能)

P-1. IP-VLBI システムによる宇宙飛翔体位置決定のための VLBI 観測 - 「GEOTAIL」衛星
試験観測結果 -

通総研 近藤哲朗、市川隆一、小山泰弘

中島潤一、関戸 衛、川合栄治

木村守孝、大崎裕生、大久保寛

岐阜大工 高羽 浩

「のぞみ」相対 VLBI グループ(宇宙研、国立天文台、NASDA、山口大、通総研)

P-2. 国際リアルタイム VLBI 実験計画について

通総研 小山泰弘、近藤哲朗、中島潤一

NTT サービス・スインテック・レーション基盤研 魚瀬尚郎

NTT サ情報流通婦ラットフォーム研 岩村相哲

P-3. 水準測量による東海地方における上下変動 (1980 年以降)

名大院環境 高野和友、木股文昭

P-4. 1946 年南海地震後に見られる複数の余効変動

気象研 小林昭夫

地磁気観測所 吉田明夫

P-5. 小孔径2連式地殻活動観測装置による同一ボアホール内歪アレー観測 - 同一花崗

岩内における 5m離れた水平歪同時観測 -

東濃地震研 浅井康広、石井 紘、青木治三

名大院環境 山内常生

P-6. 産業技術総合研究所地質調査総合センターによる GPS 連続観測・解析システム
産総研 大谷 竜、松本則夫、小泉尚嗣

P-7. 電子航法研究所 IGS 観測点について
電子航法研 新井直樹

P-8. 日本列島における新しい活断層分布と稠密重力異常の関係
西南日本重力研究グループ
(発表者:北大院理 山本明彦)

P-9. 西南日本重力データベースの運用 - 九州地方を例として -
中部大工 志知龍一
北大院理 山本明彦
核燃料サイクル開発機構 工藤 健
産総研 村田泰章、名和一成、駒澤正夫
九大院理 中田正夫
鹿児島大理 宮町宏樹
島根大総合理工 小室裕明
京大院理 福田洋一、東 敏博、由佐悠紀
第一復建(株) 中川一郎
東大地震研 渡部秀文、及川 純
九州東海大工 小林茂樹
愛媛大理 大野一郎
国土地理院
地熱開発促進センター

P-10. 岐阜県瑞浪市における絶対重力観測計画
東濃地震研 田中俊行、青木治三
石井 紘
名城大理工 田中寅夫

P-11. 富士山における重力変化
国土地理院 平岡喜文、木村 勲
西久美子、和田弘人

P-12. M 系列信号を用いた海中音響測距データの解析について

海洋情報部 富山新一、矢吹哲一郎

佐藤まりこ

東大生産研 浅田 昭